



箱根ラリック美術館にて好評開催中！

企画展「オパールとオパールセント 魔性の光に魅せられて」 関連イベント

「オパールドリンク付きミュージアムツアー」開催！

日頃よりお世話になっております。現在、企画展「オパールとオパールセント 魔性の光に魅せられて」を大好評開催中の箱根ラリック美術館では、来る10月の誕生石がオパールということで、特別イベント「オパールドリンク付きミュージアムツアー」を開催いたします。企画展「オパールとオパールセント 魔性の光に魅せられて」の作品解説終了後、作品をご覧くださいながら、オパールの色合いをイメージして作ったノンアルコールドリンクを味わっていただくスペシャル企画です。見て、聞いて、味わって、五感で楽しむ作品鑑賞にぜひご参加ください。

開催日:10月7日(日)、10月14日(日)、10月21日(日)、10月28日(日) の計4回
時間:10:30～(約30分)

参加費:500円(別途入館料が必要です。)

人数:各回最大20名

申し込み方法:電話 0460-84-2255(箱根ラリック美術館)まで

※当日は、開始10分前までに、美術館エントランスに集合してください。



オパールドリンク

企画展「オパールとオパールセント 魔性の光に魅せられて」

心を惑わす、七色の輝き。

光の反射によって色彩をかえるオパールとオパールセントガラス
ラリックを虜にした、その魅惑的な輝きの数々



花器「バックカスの巫女たち」1927年

10月の誕生石としても知られ、古代から幸運を呼びこむパワーがあると信じられてきたオパール。19世紀に入りその不思議な色の変化から不幸の石と忌み嫌われるようになったものの、ルネ・ラリックは独創的なデザインにふさわしい素材として、光線によって七色に煌めくオパールを愛し、個性的な色彩表現へと変換させました。その後ガラス工芸家へと転身したラリックは、オパールの色を表すオパールセントという乳白色のガラスを好んで用いました。光の反射や透過によって、青やオレンジと表情を変えるオパールセントガラスは立体感を際立たせるとともに幻想的な雰囲気醸し出します。オパールの魅力を存分に引き出したジュエリーと、計算されつくした輝きを放つオパールセントガラス。本展



櫛「孔雀」1898-1900年頃

では、ミステリアスな煌めきを放つラリック作品の数々とともに貴重なオパールの原石も展示し、知られざるオパールの世界へと誘います。(開催中～12月2日まで)

ルネ・ラリック René Lalique (1860-1945)

アール・ヌーヴォーからアール・デコへの架け橋となったフランスを代表する芸術家、ルネ・ラリック。16歳で宝飾職人に弟子入りした彼は、すぐにその才能を開花させ、22歳でカルティエなどの一流宝飾店から仕事を依頼されるように。1900年のパリ万博で発表したジュエリーは見事グランプリを受賞し、一躍その名を轟かせました。その後、コティの香水瓶をきっかけにガラス工芸家に転身。オリエント急行や豪華客船ノルマンディー号の室内装飾など、幅広いジャンルで独創性あふれる作品を手がけ話題を呼びました。

開館時間:9:00~17:00 (※年中無休/美術館入館は16:30まで)

入館料:大人1500円/大・高生・シニア(65歳以上)1300円/中学生・小学生800円

所在地:神奈川県足柄下郡箱根町仙石原186番1 TEL:0460-84-2255

企画展「オパールとオパールセント 魔性の光に魅せられて」は、
2018年12/2まで箱根ラリック美術館にて開催中

箱根ラリック美術館公式サイト www.lalique-museum.com/

【お問い合わせ】箱根ラリック美術館 (広報担当:杉山、古川) TEL:0460-84-2255